

決定事項

- スローガン
- 一般経過報告
- 2022年度運動方針
- 2022年度予算
- 規約の一部改正について
- 組合費の徴収方法の変更について
- 大会宣言
- JR東労組の今後の組織体制について

柔軟な組織運営と業務課題において各地本間の連携を図るために、JR東労組内にJR東労組東北協議会(仮称)【盛岡、秋田、仙台】とJR東労組首都圏協議会(仮称)【水戸、千葉、東京、横浜、八王子、大宮、高崎、新潟、長野】の結成を目指し、2023年に開催する定期大会まで議論を重ねていくことを決定

主な発言

22春闘と夏季手当のたたかひについて

▼22春闘のたたかひは引春闘がとうだったのかを総括しない限り運動はつれない。総括したからこそスタートに立た。各支部が創造的に運動をつくり出した。支部の強化・分会の強化から組合員の意識を高め、組合員の強化につながった▼22春闘のたたかひを、地本からの指示ではなく自ら考え構想し、実践できたことは大きな自信になった▼夏季手当交渉ではあまりにも納得感が得られず、人への投資をしない経営姿勢が明らかになった▼夏季手当のたたかひにおいて、職場集会所から施策によって苦しんでいる組合員の声を聞き出すことができた▼夏季手当の取り組みで、組合員以外からも声をあげることができた▼アンケートを実施した結果、5,600件以上の声が届いたことは、会社に真剣に向き合うJR東労組を求めているというこの現れである▼夏季手当において早期回答とJR東海を上回る回答が示されたことは、私たちのたたかひを評価されたことへの不満や不安が広まっていると同時に、JR東労組のたたかひに賛同する声が増えているからだ

各種施策と職場現実について

▼「地方機関における提案等の開始について」なる通知書は、一方的な通告であって断固許せるものではない▼企画業務が活発となっている。一人で3つも4つも掛け持ちしている。活動が成果主義型

組合員と共に「新生JR東労組運動宣言」を實踐し、組織強化・拡大！組織の未来を切り拓こう！

総括答弁(要旨) 書記長 加藤 誠

JR東労組結成35年、えん罪・JR浦和電車区事件が仕掛けられて20年

JR東労組は結成以来、あらゆる問題に果敢に挑み、数々の組織破壊を断ね、労働者の立場を明確にしてたたかひ続けてきた。そのこの一年間は、21春闘での敗北総括を通じて、自分自身の質に向き合うことで、あらゆる感や仕方を克服するために実践してきました。労働者の雇用と利益を守るために、「抵抗とヒューマン」の精神を育み、経営姿勢に立ち向かい、「私」のための「JR東労組」を自覚できる仲間を

22春闘総括と夏季手当のたたかひについて

「22春闘」は、「21春闘」の敗北総括が発端でした。組合員のあるがらめ感や閉塞感、仕方をなを蔓延させ、「社内世論」を生み出し、職場に根付かせようとする経営姿勢に対する立ち向かい方が大きく問われました。経営姿勢に立ち向かい、「新生JR東労組」を構築するための、真価が問われる1年ともなりました。

「22春闘」は、「21春闘」の敗北総括が発端でした。組合員のあるがらめ感や閉塞感、仕方をなを蔓延させ、「社内世論」を生み出し、職場に根付かせようとする経営姿勢に対する立ち向かい方が大きく問われました。経営姿勢に立ち向かい、「新生JR東労組」を構築するための、真価が問われる1年ともなりました。

大会にお越しいただいたみなさま

- (敬称略)
- | | | |
|---------------|------|-------|
| 全日本鉄道労働組合総連合会 | 書記長 | 熊谷 茂 |
| JR東労組08会 | 会長 | 奥山 光昭 |
| | 事務局長 | 植松 健 |
| 元中央執行委員長 | | 石川 尚吾 |
| | | 千葉 勝也 |
| | | 村田 俊雄 |
| 元中央執行委員長代理 | | |

大会に寄せられたメッセージ(敬称略)

- | | | |
|-----------------------------|----------|-------|
| 北海道旅客鉄道労働組合 | 中央執行委員長 | 中川 憲一 |
| ジェイアール東海労働組合 | 中央執行委員長 | 木下 和樹 |
| JR西日本労働組合 | 中央執行委員長 | 菅野 武男 |
| 日本貨物鉄道労働組合 | 中央執行委員長 | 高木 康之 |
| 鉄道総合技術研究所労働組合 | 執行委員長 | 中村 竜 |
| 鉄道情報システム労働組合 | 執行委員長 | 高橋 岳志 |
| ホテル聚楽労働組合 | 執行委員長 | 斎藤 敏彰 |
| 株式会社鉄道ファミリー | 代表取締役社長 | 村田 俊雄 |
| こくみん共済coop 全国労働者共済生活協同組合連合会 | 代表理事 理事長 | 廣田 政巳 |

へと加速している▼営業統括センター発足に伴う現状として、休養時間が確保されていない事象が発生している。S字の未来像でも過酷なために辞めたいと申し出て▼委員会活動は掛け持ちで、あまりにも長に言われない。職場において意識変革はすでに進められている▼モノを言えない風土の中、施策は進められている。いかに社員のためだと言わんばかりの耳障りのいい言葉を使うがそうではない▼五月雨式に続く施策議論ばかりであることから、意識して原因究明議論を行ってきた。支社ごとに攻防の取り扱いも違う。事故の背後要因には、社員の教育や経験が足りない中での業務。事故を起した人、ルールを守らない人が悪いと罰せられる。責任追及から原因究明へ。風通しの良い職場を目指していく▼常態化した責任追及と、見て見ぬふりの経営体質は既に職場文化となっている▼組織再編の施策が始まる。協議会設立に向けた議論をつなげていこう

組織強化・拡大について

▼なぜ分会が必要なのか、JR東労組が必要なのかを議論してきた分會再建の道筋を整えていく▼22春闘、夏季手当、各種施策とあわせて、会社に対して真摯に真剣に向き合っている▼各加入者は見ているし、求めている▼組織を残していくためには組織強化、拡大しかない。隠れた声を見つけて出し、手を差を伸べていけるのは私たちの行動・実践しかない▼自身の問題意識を発信する実践を繰り返すことで、相手の意識変化につなげることが出来る▼組織的

職場における施策に、どう立ち向かっているのか

JR東日本の経営姿勢は、職場にも大きく影響を及ぼしています。一つの要因として、経済産業省がDXレポートで指摘した「2025年の雇」の危機感が会社にもあると思われず。そのことも踏まえ、本部の方針は、主たる業務を明確にし、経営方針と各系統の訓練・教育を確実に実施させ、安全を守り抜くこと

安全と命を守る職場環境

鉄道事業は経験労働を主体とした職種であり、経験は安全教育や日々体験から得た知識と技能によって支えられるのです。全社員があらゆるものに中途半端に手を出していきは、鉄道事業は素人集団となりかねません。JR東日本をそのような会社とさせないために人材を確保し、安全と命を守り、働きがいと労働条件の改善を打ち進めたいと考えています。

安心して働ける労働条件

2019年4月から「勤務間インターバル制度」の導入が努力義務となり、政府は導入を積極的に進めていきます。会社は団体交渉で「在宅勤務時間については適用されない勤務指定はあるが、これまで通り出来る限り配慮していく」「社員の疲労度を根本的に考え在宅時間を拡大した経緯がある」と回答しています。実態把握と検証を行い、職場現実を組合員の声から掘り出します。

会社は「安全は度外視するようトッププライオリティである」としているものの、安全を度外視するよう

な関わりによって組織拡大が実現した▼相次ぐ役員転勤と職場代表選において社友会を活用した会社姿勢に対する抗議。分会集会を積み重ねる団体交渉へ高めてたたかひをつくり強化された。安易に第三者機関に頼るのではなく、職場からたたかひをつくっていく▼社員代表選において、各方面からの様々な動きかけがあり、自分の意思での投票ができなかった等と社友会のメンバーからも言われている。このような会社姿勢では社員を心をつかむことはできない。仲間

平和・人権・民主主義について

▼いかなる理由があっても一方的な軍事侵攻は許さない。直ちに停戦することを訴えたい▼平和について組合員と議論し、安全で安心して仕事や生活ができる社会をつくり出さなければならぬ▼東

平和・人権・民主主義のたたかひについて

JR東労組は、ロシアの侵略・侵攻、ウクライナ国民を巻き込んだ戦闘、国民から9割支持されているゼレンスキー大統領、米国のNATO・西側諸国の武器供与・経済制裁に断固反対します。

「敵基地攻撃能力の保有」「核共有」「非核三原則の見直し」などを、物価の高で多額の支持率は低下しているものの、参議院議員選挙後は一気呵成に動く

組織強化・拡大について

私たちが明確にしなければならぬことは、自らの場所を、どのようにして一万名組織をつくり出していくのか。この目標、目的を自分自身が具体的に設定し実践することです。

JR東労組結成35年！「えん罪・JR浦和電車区事件」を美世志と共になにかい抜いて20年！「抵抗とヒューマン」の精神を軸に、いかなるテロにも戦争にも反対し、憲法9条を守り戦争のない平和で安心して暮らす社会の実現を目指しましょう。

第31回情報コンクール受賞機関

- | | |
|------------------|----------------------|
| 【支部の部】 | 最優秀賞 大宮総合車両センター支部 |
| | 優秀賞 盛岡支部 |
| | 努力賞 大宮支部 |
| 【分会の部】 | 最優秀賞 盛岡新幹線車両センター分会 |
| | 優秀賞 盛岡新幹線運輸区分会 |
| | 努力賞 さいたま車両センター分会 |
| 【青年部の部】 | 最優秀賞 盛岡地本青年部 |
| | 優秀賞 盛岡支部青年部 |
| | 努力賞 横浜地本青年部 |
| 【部会・分科会・サークル等の部】 | 最優秀賞 盛岡新幹線運輸区分会車掌分科会 |
| | 優秀賞 国府津運輸区分会乗務員分科会 |
| | 努力賞 盛岡運輸区分会運転士分科会 |
| 【地本推薦特別賞】 | 盛岡地本 盛岡車両センター分会 |
| | 秋田地本 秋田支部 |
| | 仙台地本 会津若松運輸区分会 |
| | 千葉地本 習志野運輸区分会 |
| | 東京地本 田端運輸分会 |
| | 横浜地本 横浜支部 |
| | 八王子地本 立川運輸分会 |
| | 大宮地本 宇都宮運輸分会 |
| | 長野地本 JRバス小諸分会 |



組合表彰受賞者のみなさん おめでとうございます！



支部の部



分会の部



青年部の部



部会・分科会・サークル等の部



地本推薦特別賞

発言した代議員

- (敬称略・順不同)
- 佐々木克之(盛岡) 富田克明(秋田)
 綿貫直人(仙台) 吉田浩美(水戸) 宮崎恵(東京) 小林洋一(横浜) 原島雄二(八王子) 高橋建太(大宮) 横山一以(新潟) 和田勝也(長野) 川崎怜(工務部会)

退任された役員(敬称略)

- 法対・広報部長 上原 潤一
 業務担当部長 浅沼 宏優

2022年度新執行体制

- (敬称略)
- | | |
|------------------|--------|
| 中央執行委員長 | 佐藤 英樹 |
| 中央執行副委員長兼総務・財政部長 | 佐藤 伸也 |
| 中央執行副委員長兼業務部長 | 高橋 孝一 |
| 書記長 | 下村 悟史 |
| 組織研修担当部長 | 佐々木 克之 |
| 組織研修担当部長 | 鶴ノ澤 信一 |
| 組織研修担当部長 | 加藤 誠 |
| 組織研修担当部長 | 清水 聡 |
| 組織研修担当部長 | 田崎 潤一 |
| 組織研修担当部長 | 福田 敬 |
| 組織研修担当部長 | 重久 拓也 |
| 組織研修担当部長 | 小川 哲 |
| 組織研修担当部長 | 吉田 昌文 |
| 組織研修担当部長 | 湯目田友子 |
| 情報担当部長 | 関能 裕一 |
| 業務担当部長 | 久原 裕人 |
| 業務担当部長 | 長谷 理生 |
| 業務担当部長 | 熊澤 賢一 |
| 総務・財政担当部長 | 田谷 雅敏 |